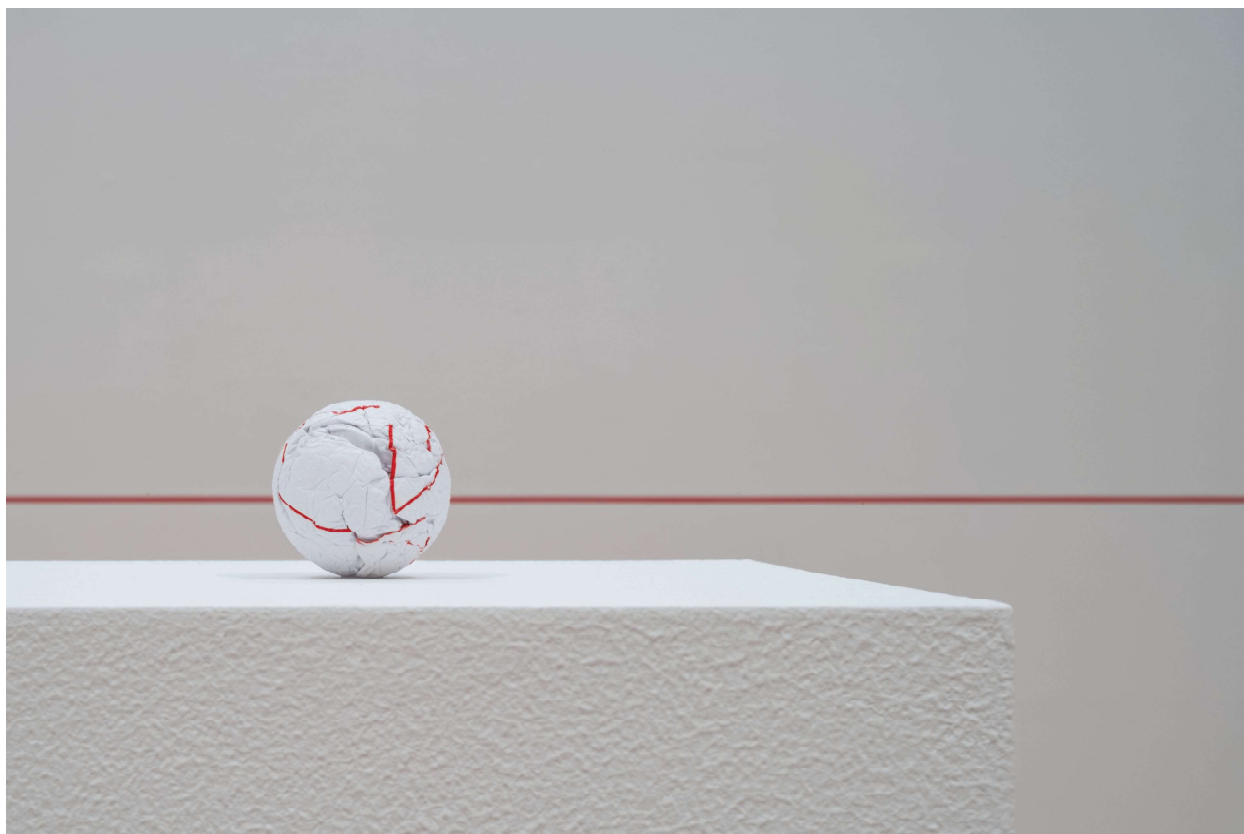


Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース
2025.9.29



寺内曜子《Red Square Line》2021 年 ©TERAUCHI Yoko 2025

開館30 周年記念コレクション展 VISION 星と星図

第2期 星図Ⅱ：独りと、集団と

2025年10月4日[土]—11月30日[日]

開館時間： 午前10時-午後5時30分（入場は午後5時まで）

休館日： 月曜日（10月13日、11月3日、24日開館）

主催： 豊田市美術館

観覧料： 一般300円〔250円〕、高校・大学生200円〔150円〕、中学生以下無料

〔 〕内は20名以上の団体料金

*その他観覧料の減免対象者については、当館ウェブサイトをご確認ください。

開催趣旨

豊田市美術館は今年で開館 30 周年を迎えます。この節目にあたり、当館では、「開館 30 周年記念コレクション展 VISION 星と星図」を開催し、6 月から 3 月までの 10 カ月間を通してコレクションを見つめ直し、ここに新たな息吹を吹き込みたいと思います。

第Ⅱ期では、展示室 1 と 3 の二部屋を使い、日本の戦後美術の集団的な動向と、その傍らで、時に関心を同じくしながらも独り制作を続けた作家たちの二つの軸から作品を紹介します。展示室 2 で展示するのは、2021 年に寺内曜子が同室にあわせて制作した《パンゲア Red Square Line》です。展示室 4 では、迎英里子が産業都市豊田を念頭に構想した新作を披露し、つづく展示室 5 では宮脇綾子やウィーン工房の女性作家たちによる作品など、日常の延長線上に息づく作品を中心に紹介します。

戦後 50 年代後半から 70 年代の日本の美術は、具体美術協会、ネオ・ダダ、もの派、美共闘などいくつかのグループが誕生しては解消し、また新たな動向が生まれるという、運動体の展開として描かれてきたといえます。しかし言うまでもなくその周辺では、斎藤義重や岡崎和郎、村岡三郎など、独自の時間軸に従って、息の長い制作を続ける作家たちがいます。豊田市美術館には、野村仁や河川龍夫など、同時代に関西を拠点にした作家たちの作品も多くあり、こうした作品もこの時代を見るうえで別の視点を与えてくれるでしょう。アプリケによる作品づくりを、日記を書くように日々の営みとして続けた宮脇綾子や、具体美術協会のメンバーという経歴を持ちながら、菓子箱を転用したり色紙を使ったりと、日常の延長線上で、ごく小さな作品を制作し続ける堀尾昭子にも、命名不要なアートの豊かさを認めることができるでしょう。

極度に削ぎ落とされた寺内曜子の作品は、反転して世界の無限の広がりをおたちに開示してくれます。それは利己的に世界を分断してきた人間への軽やかな警句であり、同じく迎英里子の新作には、システム化された社会に対する拭いようのない違和感が提示されています。私たちは、大きな歴史に飲み込まれる前に、個別の生を生きているのです。

個々の作品は、一つの星のように個別の性格を持った単独の存在でありながら、他の作品と関係し合い、像を結ぶことによって、複雑で豊かな星図を描き出します。展示室を行き来するなかで当館コレクションの豊かなバリエーションをご覧いただき、時代や場所を越えて共有される複数の思考の連なりを実感していただければと思います。

展覧会の見どころ

1) 当館のコレクションの核となる、50年代後半-70年代の日本の美術作品の紹介

具体美術協会やもの派、美共闘など、次々に誕生した芸術運動と共に、斎藤義重、村岡三郎、野村仁など独自の時間軸にもとづいて制作を続けた作家の作品を紹介します。美術の複数の歴史を実感することができるでしょう。

2) 寺内曜子《パンゲア Red Square Line》の再展示

2021年の特集展示の際に、当館の展示室に合わせて制作されたインスタレーション作品を4年ぶりに再展示します。空間の果てしない広がり、また反対に求心的に縮小していく世界とを同時に体感することができます。

3) 迎英里子新作

当館では同時代に活動する作家たちのアクチュアルな作品を紹介してきました。第2期では、現在愛知県を拠点に活動する迎英里子の新作を紹介します。産業都市豊田と現在のシステム化された社会に応答した作品となります。

4) 宮脇綾子とウィーン工房

日々の営みの延長線上で制作を続け、いまその活動が改めて注目されている宮脇綾子。女性作家が中心となり、日常を彩るデザイン品の制作を行ったウィーン工房。大きな作品に劣らぬそれら小さな仕事の豊かさを紹介します。

関連事業

開館30周年記念に合わせて、様々なイベントを実施します。
詳細は、別途30周年記念イベントとして、アナウンスします。

今後の展示

第3期 2026年1月6日〔火〕-3月15日〔日〕

お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

HP:<https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| ● 展覧会に関すること | 学芸担当：千葉、鈴木 | Tel 0565-34-3131 |
| ● 掲載依頼・取材等に関すること | 広報担当：西本、籠谷(こもりや) | Tel 0565-34-6748 |



Toyota
Municipal
Museum
of Art
豊田市美術館

開館30周年記念コレクション展 VISION 星と星図 第2期「星図II：独りと、集団と」広報用画像について 広報用画像について

当館ウェブサイト「広報用画像ダウンロード」申込みフォームより、ご希望の画像を申請してください。
「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。
パソコンからのお申し込みが難しい方は、以下を記入のうえ、Fax (0565-36-5103) でお送りください。

お名前	様	ご所属
Tel	Fax	
e-mail	必要な画像の番号	
掲載紙／メディア名	発売、放送予定日 月 日(月号、vol.)	
必要な鑑賞券枚数(最大5組10名分)	枚	鑑賞券の送付先

*読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください



1



2



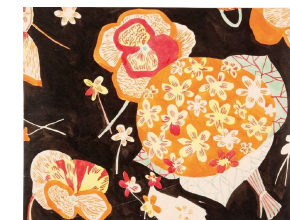
3



4



5



6



7



8

- 1 斎藤義重《複合体 95》1995 年
- 2 元永定正《作品 65-3》1965 年
- 3 篠原有司男《かんざし》1966, 98 年
- 4 堀浩哉《池へ -81.4》1981 年 ©Hori Kosai
- 5 寺内曜子《パンゲア Red Square Line》(部分) 2021 年 ©TERAUCHI Yoko 2025 photo: ToLoLo studio
- 6 マリア・リカルツ《ヴェローナ》1924 年
- 7 吉田哲也《Untitled》1996 年
- 8 宮脇綾子《布置刺繍》1975 年頃

資料の使用には以下の点にご注意ください。

- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮いただき、所蔵先、クレジットも表示してください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、献本または情報公開後の報告をお願いします。
- ・本展の紹介でのご使用後は、各メディアの責任のもと画像データを削除破棄してください。

美術館使用欄 画像提供の依頼日 年 月 日 ☐画像送付 ☐校正 ☐修正 ☐配信・配本